

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-14 生活保護事務 □支援部門								
主管課	生活福祉課	関連課							
分野名	健康福祉								
目標 (目標値)	生活保護を適正に運用していくための各種取り組みを行う。								
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	177,895人	177,224人	177,204人					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯					
	事業の対象者数	831人	832人	822人					
運営資源状況	決算値(千円)	7,611	5,536	5,555					
	(国・県)	3,871	1,749	1,898					
	(負担金等)	0	0	0					
	(一般財源)	3,740	3,787	3,657					
	人員配置数	2.0人	2.0人	2.0人					
	人件費(千円)	15,513	16,468	17,900					
	協働のパートナー	無	無	無					
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	23,124	22,004	23,455					
	市民1人当りの経費(円)	130	124	132					
	対象者1人当りの経費(円)	27,827	26,447	28,534					
ベンチマーク(県 内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市			
	被保護世帯数	666	3802	3816	1555	297			
	被保護人員	831	5394	5415	2127	444			
	保護率(%)	4.8	13.25	12.95	8.96	6.94			
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)		
		目標値							
		実績値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
生活保護事務	7,611	生活保護事務	9,093	今後の方向性	B	理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	平成25年8月に生活保護基準の大幅な改定が行われた。新基準へのスムーズな移行を図るとともにシステムの安定性を検証する必要がある。											
課題解決のための取組	新基準へのスムーズな移行を図るため、対象者へ事前の周知を徹底した。また、事務効率化を図るためにシステムを活用しつつも、常にシステムの安定性の検証を行った。						取組の結果	■解決 □未解決				
未解決の課題	システムの安定性のさらなる検証。7月に行われる生活保護法改正へのスムーズな移行。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	生活保護制度の見直しに伴い、情報収集、システムの安定化を図り制度の適切な運用に努めていく。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	B	
※□事業完了												

評価者名 生活福祉課長 曾根 健治

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
生活保護事務	最低限度の生活を保障する生活保護の事務経費を執行				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		85	嘱託医報酬(一般・精神科)2人	1,606	1,606	○	○	○	○
		85	就労支援員報酬1人	1,020	930	○	○	○	○
		85	就労支援員費用弁償	107	27	○	○	○	○
		85	消耗品費	130	128	○	○	○	○
		85	電信料	66	65	○	○	○	○
		85	一般診療等審査手数料	1,246	1,086	○	○	○	○
		85	レセプト点検事業委託料	473	397	○	○	○	○
		85	保護費封入委託料	882	745	○	○	○	○
85	住宅片付事業委託料	226	0	○	○	○	○		
85	生活保護等版レセプト管理システム保守委託料	213	213	○	○	○	○		
85	生活保護基準改正に伴うシステム改修委託料	0	2,414	○	○	○	○		
※ 事業完了									
小事業名	業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ 事業完了									
小事業名	業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ 事業完了									
小事業名	業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ 事業完了									